



枚方市議会議員

ばんしょう映仁

てるひと



No.19
2022.7

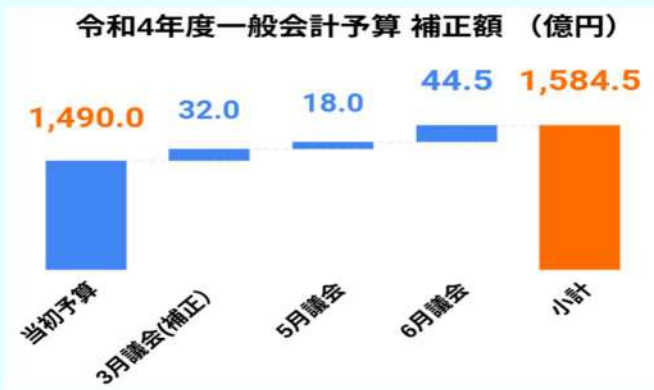
【市政報告】

発行：番匠 映仁 枚方市出口 3-2-25-807
TEL：080-2523-8769
bansho.t@ban-teru.com

I. 6月定例月議会（補正予算、条例改定）ご報告（6月10日～24日）

● 令和4(2022)年度 一般会計補正予算

補正額：44.5億円増額 [物価高騰対策]
補正後の総額：約1,584.5億円



【原油価格・物価高騰等総合緊急対策】

水道料金の基本料金等の減免：約6.3億円

給付家計負担軽減や事業者支援のため、水道料金の基本料金等4カ月分を減免



【内容】

水道料金の基本料金と1カ月あたり使用水量8㎡までの従量料金を4カ月間減免

【減免期間】

偶数月検針：令和4年8月・10月検針分(7・8・9・10月分)
奇数月検針：令和4年9月・11月検針分(8・9・10・11月分)

【申込手続】

不要

■ 新型コロナワクチン接種体制確保事業費：約4.5億円

■ 新型コロナワクチン接種対策事業費：約4.1億円

新型コロナワクチン4回目接種に係る接種委託やコールセンター運営費等事務費

■ 予防接種実施経費：約3,700万円

子宮頸がんワクチン接種における今年度からの積極的勧奨に伴い、これまでの間、接種機会を逃し自費で接種した対象者への補助

地域公共交通運行継続支援：約6,600万円

燃料費高騰による影響を市民生活に及ぼさないよう、公共交通機関であるバスやタクシー事業者へ支援

学校給食費支援：約2.6億円

原材料の価格高騰の中にあっても、給食内容等へ影響を及ぼさないよう学校給食会へ支援

私立保育所等に対する光熱費支援：約1.2億円

燃料費高騰に対する支援として、私立保育所(園)、私立幼稚園、社会福祉施設等の光熱費を支援

● 条例の一部改正

■ 枚方市臨時保育室条例の一部改正

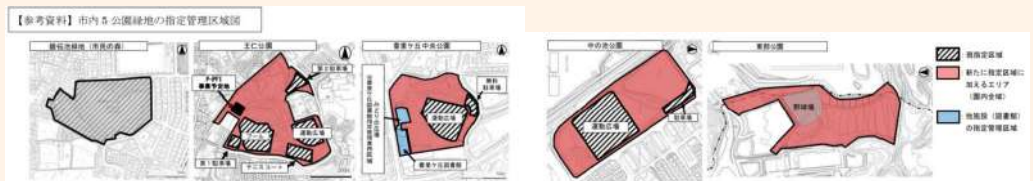
【10月開室予定】枚方市立渚西臨時保育室を設置
通年の待機児童解消に向け、新たに臨時保育室を設置



旧枚方市立渚西保育園舎を活用した臨時保育室を設置

■ 枚方市都市公園条例及び枚方市附属機関条例の一部改正

5つの公園（鏡伝池緑地、王仁公園、香里ヶ丘中央公園、中の池公園、東部公園）を一括して指定管理者に委託
王仁公園内の一部区域で新たな公園施設の設置運営事業者を公募



● 契約締結

■ 長尾杉線（杉工区・長尾工区）・牧野長尾線（第7工区）道路整備工事

令和7(2025)年度全区間完成を目指す！

東部地域における道路交通網の強化を図るとともに、周辺道路の交通混雑の緩和や安全・安心な歩行空間の確保に加え、防災機能の強化を図るため、長尾杉線・牧野長尾線の整備が進められています。



道路整備に伴い一部埋め立てられる長尾大池

今も未来も、誰ひとり取り残すことなく笑顔に！ ～ひらかた万笑！～

【不登校児童生徒は増加傾向！】まずは、今すぐできる支援から！



ばんしょうの視点

様々なことが原因で、実際に学校にいけなくなってしまっても、今の学校だけ、クラスだけが居場所ではないことも含めて「大丈夫」「誰一人取り残しません」と教員も周りの人もみんなが言えるよう「不登校の支援ガイド」を作成し、適切な情報提供を行っていくよう求めました。

私としては議員になってから、何度となく不登校児童生徒、保護者に対する支援、選択肢を提案してほしい、増やしてほしい、との提案を行ってきましたが、なかなか手を打てないまま来ていると歯がゆい思いを持っています。今回の質問では、「まずは今すぐできる支援を！」という提案としました。



ばんしょうの質問

本市における2021年度の不登校の状況およびその傾向は？

市答弁 2021年度における本市の不登校児童・生徒数は、小学校280名、中学校591名となっており、2020年度と比べ増加傾向となっている。

不登校児童・生徒の社会的自立を考えたときに、どのような支援策があるかを児童・生徒およびその保護者が把握し、主体的に選択できることが大切ではないか？

市答弁 不登校児童・生徒及びその保護者が支援策を主体的に選択できるような情報提供について検討する。

【自治会活動のデジタル化】市のコンサルティング機能の強化を！

ばんしょうの視点

校区コミュニティ協議会や自治会の役員等の担い手不足、そしてデジタル化の遅れの話を何度もお聞きしてきました。今後、新たな若い世代が担い手となり活動に参加してもらえるよう、業務の効率化や迅速な情報発信を進めていく観点から、地域活動の様々な場面において、デジタル化を進めることが有効だと考えます。既にある自治会アプリの研究含め、地域のニーズをしっかりと聞きながら、どのように進めて行けば良いかという、コンサルティング機能の強化を市に要望しました。



ばんしょうの質問

校区コミュニティ協議会等に対して、これまでどのようなデジタル化への支援を行ってきたのか？

市答弁 地域づくりデザイン事業補助金を交付しており、デジタル化の取り組みにも活用することができる。ペーパーレス会議を導入した校区や高齢者のパソコン・スマホ教室を実施した校区もある。

地域づくりデザイン事業補助金の活用の際に、市ではどのような支援ができるのか？

市答弁 新たな校区の取り組みについての相談があった際には、校区の意向をお聞きしながら、補助金申請に必要な事業計画の作成支援を行っている。

【コロナ禍の保育所の休所ルール】

根拠が変われば、速やかに変更を！

このままでは「働けない！」「子どもの将来にも影響が！」との悲痛な声が！

ばんしょうの質問

保育所が保育所の役割を果たしているのか？公立保育所の今年の休所状況は？

市答弁 個別に見ると、休所が解除された後に、すぐにまた休所となる事例もあり、2月には稼働日の40%が休みになった公立保育所が市内9所の内の3所あった。

【中学校部活動の地域移行】

生徒を中心に！ビジョンが必要！

『生涯スポーツ健康都市』を宣言し、市民とともに枚方の未来につながるよう推進を！

ばんしょうの質問

今後の推進スケジュールは？

市答弁 2023(令和5)年度から3年間で休日の部活動を地域移行するとされている。今後、地域がどのように担うことができるのか検証していく。今年度中に、運動部活動の地域移行への方針などの策定を目指していきたい。

